

戦 評

大会名 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会 岩手県予選会

男子決勝

会場名：盛岡大学体育館

主審：小野寺 太

副審：多田直樹

試合結果

岡崎建設Owls 2 $\left\{ \begin{array}{l} 25-19 \\ 25-20 \\ - \end{array} \right\}$ 0 MASTERPIECE

戦 評 試合時間 0時間 45分

第1セット、両チームとも安定したレセプションから多彩な攻撃でサイドアウトを取り合う

展開となった。終盤、岡崎建設は5番石川の強烈なスパイクや10番三ヶ森の連続

サービスエースで相手を突き放しこのセットを先取する。

第2セット、岡崎建設はこのセットから入った8番花坂の安定したトスワークから徐々に

リードを広げる。対するMASTERPIECEは、8番リベロ竹田の粘り強いディグから6番倉成

の強打につなげ反撃を試みるも岡崎建設4番外崎の速攻やサービスエースでこのセット

も連取し東北ブロックラウンドへの出場権を得た。

※ 7～10行にまとめること。

戦評者：手島瑞夫

岩手県バレーボール協会